

St. Luke's International University Repository

巻頭言 聖路加看護大学紀要第20号の刊行にあたって

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2007-12-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 日野原, 重明 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/275

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



巻頭言

聖路加看護大学紀要第20号刊行にあたって

聖路加看護大学 学長 日野原 重 明

聖路加看護大学は、昭和48年(1973年7月)から大学の定期学術研究業績集として、聖路加看護大学紀要を年1回発行することになった。

聖路加看護大学の発足は、その前身として戦前の聖路加国際病院附属高等看護婦学校、次いで聖路加女子専門学校、そして戦後は聖路加短期大学として発展し、昭和39年(1964年)には4年制の聖路加看護大学として発展するに至った。

日本における看護の高等教育の社会的要請の深まる中で、昭和55年(1980年)には大学院看護学研究科看護学専攻修士課程(博士前期課程)を設置するまでに大学は発展した。このような歴史の中で、大学の教職員の研究業績集の発行の必然性が熟する中に、昭和48年(1973年)には遂に聖路加看護大学紀要の第1号を発行するに至った。

その後、本学の大学院看護学研究科看護学専攻博士課程(博士後期課程)を昭和63年(1988年)に増設するにあたり、紀要の研究業績内容を高め、また学部における総合看護(卒業論文)および、修士論文、博士論文の一覧表さらに教員研究活動一覧表を毎号に収録することの意義を認め、紀要委員会(現 宮坂義彦委員長)の協力により本誌をいよいよ第20号として発行するに至った。このことは非常な感謝である。

この本学紀要が発行された昭和48年(1973年)には、日本における4年制看護大学は9校(国立6校、公立1校、私立2校)に過ぎなかったが、本号発行の平成6年(1994年)までには22校(国立11校、公立4校、私立7校)を数え、この数は益々増加の傾向にある。本誌の内容も過去20年間の多大な進歩を示したが、他の看護大学がさらに飛躍してそのレベルが向上する中で、本誌のもつ意義は大きいものであると思う。

今日までの代々の紀要委員会の御努力に感謝するとともに、今後、本誌の内容が益々向上することを希って、20周年記念号の挨拶のことばとしたい。